





## FIC 受験支援セミナーを受講して森林インストラクター試験に合格した方々の声

氏名 合格年／居住地	受講の感想
植村 敦子 2013 年／市川市 	<p>茗荷谷のセミナー（注1）の前期を受講し、一通りの内容はつかんだものの、あまりの広範囲にどこから手をつけたらよいのか呆然としましたが FIC のセミナーでの確かなアドバイスをいただき勉強量を絞り込むことができました。本番前のプレ試験（注2）も受けておいてよかったです。今は林の整備・森林学習などに取り組んでいます！</p>
池端 伸浩 2015 年／東京都世田谷区	<p>受講をして良かったことを3つ挙げます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全国森林レクリエーション協会の養成講習より早い時期に開講されたこと。</li> <li>2. 開催時間が夜間であり、勤務後に受講できたこと。</li> <li>3. 受講料が低額であったこと。</li> </ol> <p>また、各回終了後の懇親会は、試験以外にも FIC の活動内容などを聞かせていただく機会となり、参考になりました。</p>
植沢 俊 2015 年／千葉市美浜区 	<p>受験支援セミナーで試験勉強の方法を教えてもらったお陰で合格できました。特に、記述式の問題に対する準備は「知識だけではなく長時間の筆記に耐えられるよう指を鍛えておくことも必要だ」と教わり、毎日文章問題を連続3問書き写す練習をしたのが本番で効果を発揮しました。</p>
前田 伸治 2016 年／柏市 	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受験中のモチベーションを上げることの大切さ 私は合格まで3年かかりました。長期の取り組みで、モチベーションを上げるのに苦労しました。克服するために、自分がインストラクターになって人々を山に案内している姿をイメージしました。受験の目的をしっかりと持つことが大切です。また、地域の受験講座に参加し、共に学ぶ仲間がいるということが大変刺激になりました。</li> <li>2. テキストを繰り返し読むこと 最初は言葉が難しいと思いましたが、繰り返し読むことで少しずつ理解できるようになりました。疑問を持って読むと、理解した内容が記憶に残ります。</li> <li>3. テレビの活用 私は時々登山や自然をテーマにした番組を見ました。樹木の名前、特徴、地形、地質などをテレビの画像で見ることで大変勉強になりました。</li> </ol>
橋本 薫 2016 年 ／茨城県つくば市 	<p>昨年、2回目のチャレンジで合格致しました。茨城在住ではありましたが、セミナーに参加させて頂き、漠然としていた試験のポイントが明確になりました。樹木観察実習は、森林インストラクターの楽しさを垣間見ることができ、やる気に直結しました。今後もインストラクターとして活躍していけるよう自己研鑽していきます。</p>

氏名 合格年／居住地	受講の感想
三井 研一 2017年／松戸市 	<p>FIC 受験支援セミナーのお蔭で運よく一発合格することができました。ありがとうございました。振り返ってみますと、①過去問リストおよび要点の解説プリントのおかげで、広範囲のテーマの中からある程度の絞りを絞ることができたこと、②プレ試験の他、受験の心構えやテクニックについての的確なアドバイスをいただいたこと、とくに初回の私にとって貴重でした、③またセミナー後の懇親会（全2回）において、講師と参加者の皆さんから熱い思いを直接聞くことができたこと、この体験が一日も早く FIC に仲間入りして皆さんと一緒に活動したいとの思いにつながり、5 か月余りの短期決戦においてモチベーションをキープさせてくれたと思われまます。</p> <p>また受験勉強の工夫といえば、養成講座を受講してそのテキストを丹念に読みこむこと、過去問と自作の想定問答集の学習によって記述問題で白紙回答を回避すること、記述問題は1問当り7～8分で200字程度書いて一定の得点を確保した後、時間が許せば残り時間で2～3行分補足して上乗せ得点を狙えばよい。</p>
長嶺 勝 2017年／千葉市 	<p>森林インストラクター資格試験の特徴は100文字から300文字位の記述問題と穴埋め問題で構成されていて時間内にすべて問題の記入は難しい。そのため書く力をつける事が最優先となる。FIC 受験支援セミナーでは記述問題の勘所を教えていただいた。</p> <p>私の場合は百円ショップで50枚綴りの400字詰め原稿用紙を取りあえず10冊購入して過去問題集解答の写しで全部使い切る事を目標にした。メリットは本番の解答用紙もマス目になっていて文字数の感覚がつく、専門的なキーワードに慣れる事ができる。（問題に対するキーワード書けることが重要）確実に点数となる要素の穴埋め問題では最低でも80%～90%は取れるようにした。</p>
板倉完次 2017年／柏市 	<p>セミナーのメリットデメリットや受験勉強の工夫            二回目の挑戦で合格することが出来ました。これも F I C 支援セミナーのお蔭と、改めて御礼申し上げます。セミナーのメリットは、初めての経験の私でも的確に受験に関するアドバイスを頂けたことです。「四科目を一度に狙わずに二年で充分」「兎に角筆記が多いのでその特訓をするべし」等々。更に、頂いた資料も後から読めば読むほど中身の濃い資料であることが分かってきました。</p> <p>受験に関するアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、茗荷谷の講習を受けること。テキストの目次をみて、どこをマスターすれば良いかを把握すること。そのためには、過去問（五年分ぐらい）を何回かやって、どのあたりが出ているかを理解する。</li> <li>・同時に支援セミナーで頂く資料のうち、キーワードが列挙してあるものをみる。この資料はかなり為になる。自分なりに項目ごとに置き換えるとより覚えやすい。</li> <li>・一年で合格を狙わず、二年或いは三年計画でやると気分的に楽。最初の年はダメ元で全体の雰囲気を得。次年度から科目を絞ってやればよい。私の場合は、初年度は林業と野外活動に絞り、次年度で森林と安全の計画で受験。結果1年目で森林を除き三科目合格し、2年目がかなりゆとりを持って受験できた。</li> </ul>

（注1）「茗荷谷のセミナー」とは一般社団法人全国森林レクリエーション協会主催「森林インストラクター養成講習」のことです。FIC セミナーとのダブル受講をお勧めします。

（注2）「プレ試験」とはFIC セミナー最終回に実施する模擬試験で、本番に近い様式で記述式問題に解答してもらいます。